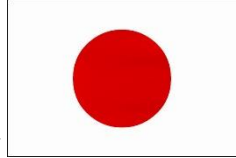




ナミビア通信

～のんびり(Nombili)～



青年海外協力隊
岩塚善哉
3rd. June. 2019 No.10

日本では少しずつ暑くなり気温 30 度以上の真夏日が続いているというニュースを読みました。日本のこの時期は熱中症になりやすい時期です。こまめに水分補給をして健康管理をしてください。さて、私の住むナミビア北部では、半年以上続いていた夏もようやく終わりの兆しがあり、朝晩が肌寒くなってきました。季節の変わり目なので、私自身体調に留意して活動に取り組みたいと思います。

私の住むオカハオ(Okahao)

私は教育事務所に所属し、定期的に学校を巡回して授業をしたり、ワークショップを開いたりしています。ナミビアの北西部に位置するオムサティ(Omusati)州のオカハオ(Okahao)で生活しています。

北部は植民地支配の際に、もともと住んでいた人々を強制的に居住させ、まともな教育を受けさせなかったことや、独立戦争の際に戦いが繰り返された場所などの理由から発展が遅れたといいます。改めて私が活動している地域にまつわることを紹介したいと思います。



1. バオバブの木[Baobab tree]



街のシンボルとして、バオバブという大きな木があります。この木の樹齢は、およそ 1000 年と言われており、2011 年に国家遺産として登録されています。ナミビア独立のために戦った際には、多くの人たちがこの周りで命をおとしたと言います。現在は、観光場所として土産物が売られ、キャンプサイトなどが併設されています。このバオバブの木は、「星の王子さま」にも登場するので、興味のある人は調べてみてください。

2. 初代大統領 [Founding president]

オカハオは、ナミビア初代大統領、サム・ヌジョマ(Sam Njoma)の出身地でもあります。元大統領の誕生日の 5 月には、90 歳の誕生祭がオカハオで行われました。元大統領のスピーチや催し物が行われ、人々は伝統的な衣装を着て参加していました。オカハオは小さな街ですが、ナミビアの礎を築いた方がいることで、誇りに思っている人が多いように感じました。元大統領は、植民地支配されていたナミビアの独立運動の指導者で、1990 年 3 月 21 日の独立の日から 2005 年 3 月 21 日に大統領に就任し 15 年間務めました。



サム・ヌジョマ

3. お札について [Note(bill)]

サム・ヌジョマ(Sam Njoma)元大統領は、2012 年 5 月から 10 ドル札と、20 ドル札のお札の肖像にもなっています。生存されている方が、お札になっていることは日本ではないので驚きを感じました。



ヘンドリック・ウィットボーイ

旧お札は、ヘンドリック・ウィットボーイ(Hendrik Witbooi)が、すべてのお札の肖像となっていました。現在でも 50 ドル札、100 ドル札、200 ドル札には使用されています。20 世紀初めに、ドイツ軍が占領しようとした際に、先頭になってドイツ軍と戦い、その際に亡くなった英雄的な人物です。

最後に、日本もすべてのお札の肖像画が、2024 年に刷新されると聞いています。お札の肖像画になる人物が、どのような人物だったのか、調べてみるのも良いかもしれませんね。